営農技術情報

令和７年８月発行
宗谷農業改良普及センター
本所（TEL01634-6-1414）

【夏のアブ・サシバエ　吸血昆虫対策について】

猛暑を越え、牛も疲れてくる時期になりました。乳牛にとってアブやサシバエの吸血は大きなストレスです。作業者にも不快なストレスを与えます。秋以降の乳生産を落とさないためにも、できる対策を緩めずに継続しましょう。

□　ハエ類の生態

今日みかけるサシバエ・アブは２週間前の卵からの発生と推定されます。主な産卵場所は新鮮糞やジメジメした場所で産卵、成虫後、数回産卵があります。１回の産卵数は 50 個～150 個/回と多く、成虫サイクルでは温度にもよりますが、卵から幼虫→さなぎを経て成虫になるまでに約２週間です。本年は、少雨で高温が続き吸血昆虫にとって生き残りやすい夏であると考えます。今期も成虫が産卵を繰り返す期間は対策が必要です。

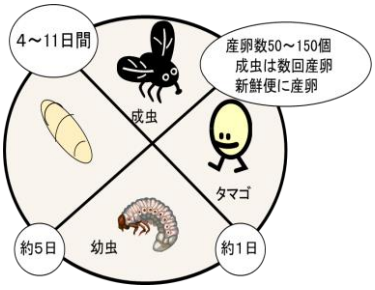

図１　ハエの発生サイクル

出典：R4.4 普及センター資料より

□　ハエ類を減少させる対策

	対策	原理	資材の一例
物理的防除	・はえ取りシート ・はえたたき ・トラップの設置	粘着剤で捕獲 ネットで圧殺 誘因後捕獲または餓死	・はえ取りシート ・はえ取りテープ ・はえたたき ・手作りからアブトラップまで各種あり
化学的防除 （殺虫剤の利用）	【誘因殺虫】 ハエの集まる壁や柱にハケやスプレーで塗布 【幼虫剤　脱皮阻害剤IGR】 バンクリーナーやハッチ周り下やエサがこぼれた場所に定期的に散布 【成虫剤】 用途に応じて空間噴霧 牛体噴霧には動物医薬登録を確認して利用。	・ハエが集まる場所に殺虫剤を置くことで捕獲後殺虫 ・幼虫からさなぎになるのを阻止し発生個体減 ・牛体周りに噴霧し忌避・殺虫	・エコスピード、ノックベイト ・サイクラーテSG、シロマジンなど ・金鳥ETB乳剤など
殺虫剤利用にあたって※注意事項 ・同じ薬剤を使い続けるとハエに耐性がつく場合があるのでローテーションなど注意事項をよく読み使用しましょう。 ・殺虫剤使用の際は、用法・用量、使用上の注意点をよく読み、適正にお使いください。			

□　環境整備でサシバエの生息域を潰す

こまめな除糞、水や飼料がこぼれた場所の掃除、泥ねい化防止などの環境整備が基本です。また、吸血したサシバエは牛舎周辺の雑草を休憩場所として移動するため、敷地内の雑草管理も大切です。　【お問い合わせ先：宗谷農業改良普及センター01634-6-1414】